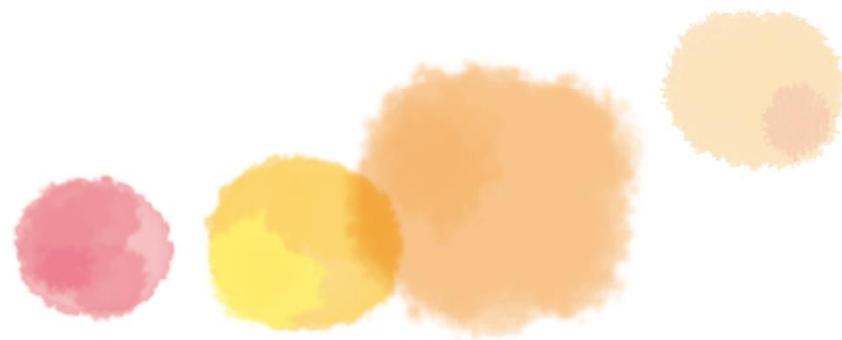


令和2年度 マイブック推進事業について 《事業開始7年目》

実施期間 令和2年7月20日(月)～11月30日(月)



クーポンの使用状況 <<市立小学校>>

令和2年度の使用状況

クーポンを使用した児童(使用率)

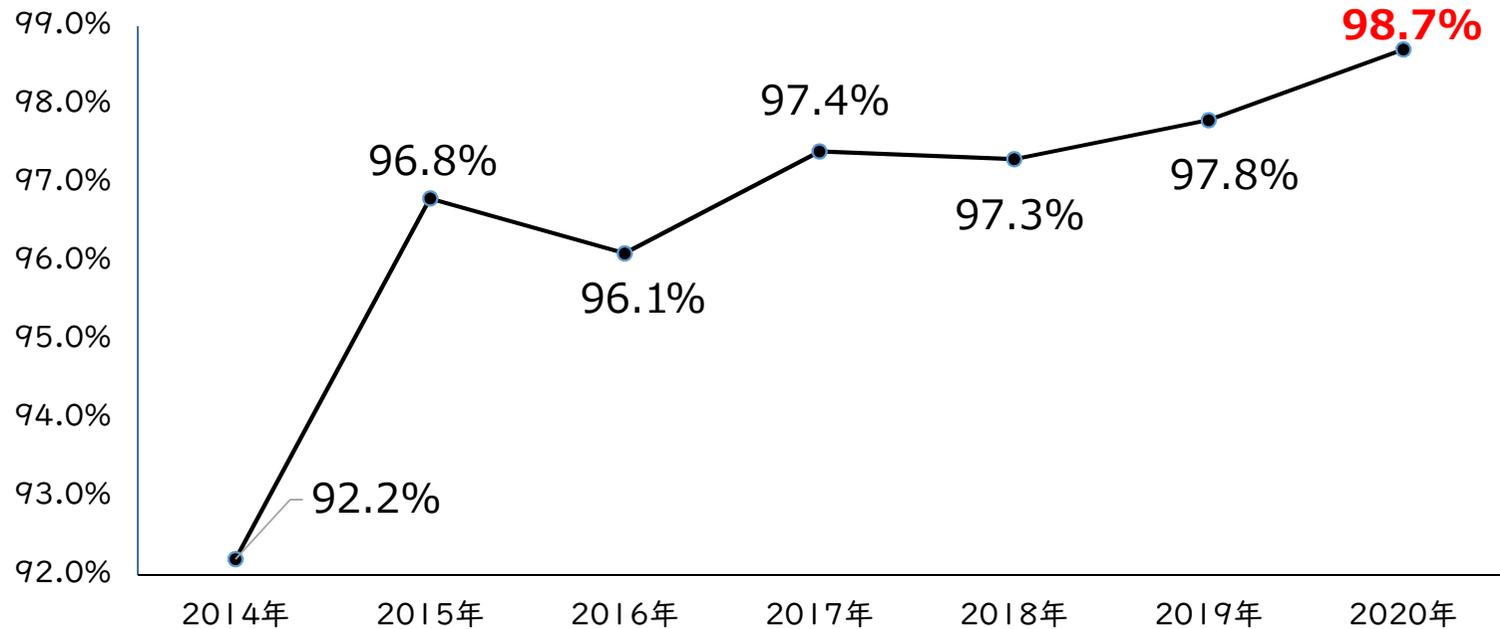
※「未使用」=1枚も使っていないこと

配布人数	10,824人
使用人数	10,685人
使用率	98.7%
未使用人数	139人
未使用率	1.3%

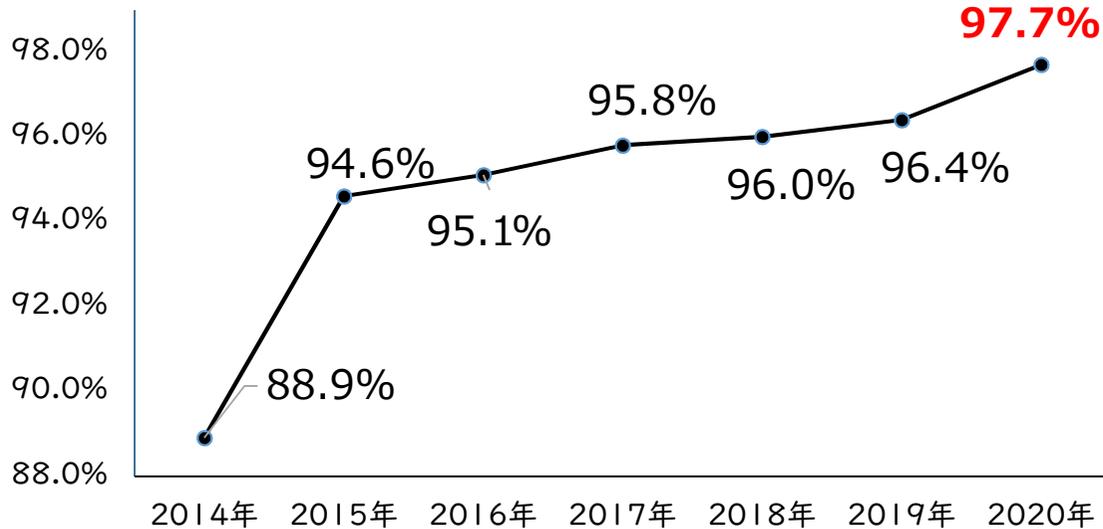
使用されたクーポン(執行率)

配布枚数	43,296枚
使用された枚数	42,294枚
クーポン執行率	97.7%

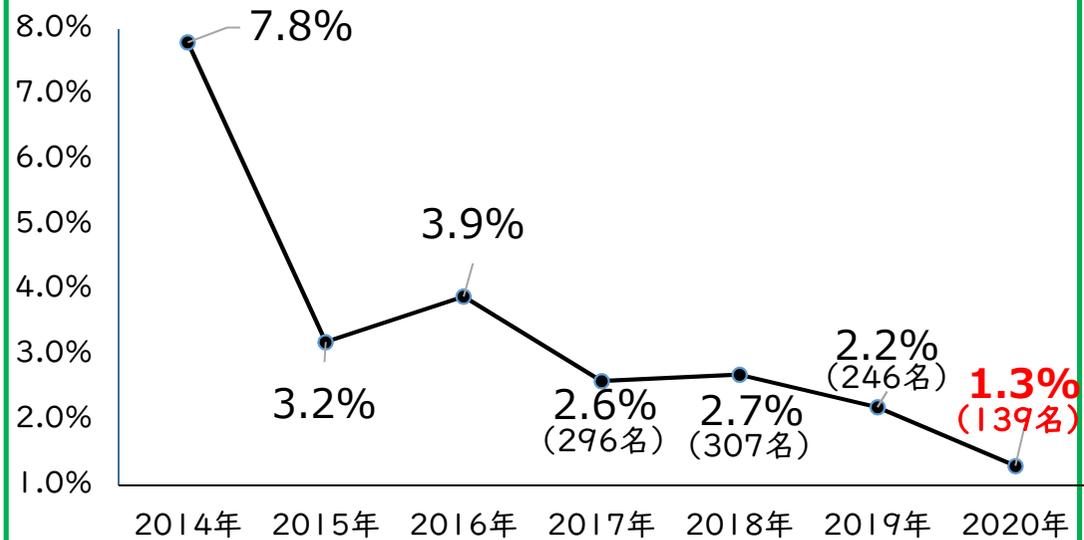
クーポンを使用した児童の割合(使用率)の推移



クーポンの執行率の推移



クーポンを全く使用しなかった児童の割合の推移



2 クーポンの使用状況 << 県立特別支援学校 >>

令和2年度の使用状況

クーポンを使用した児童(使用率)

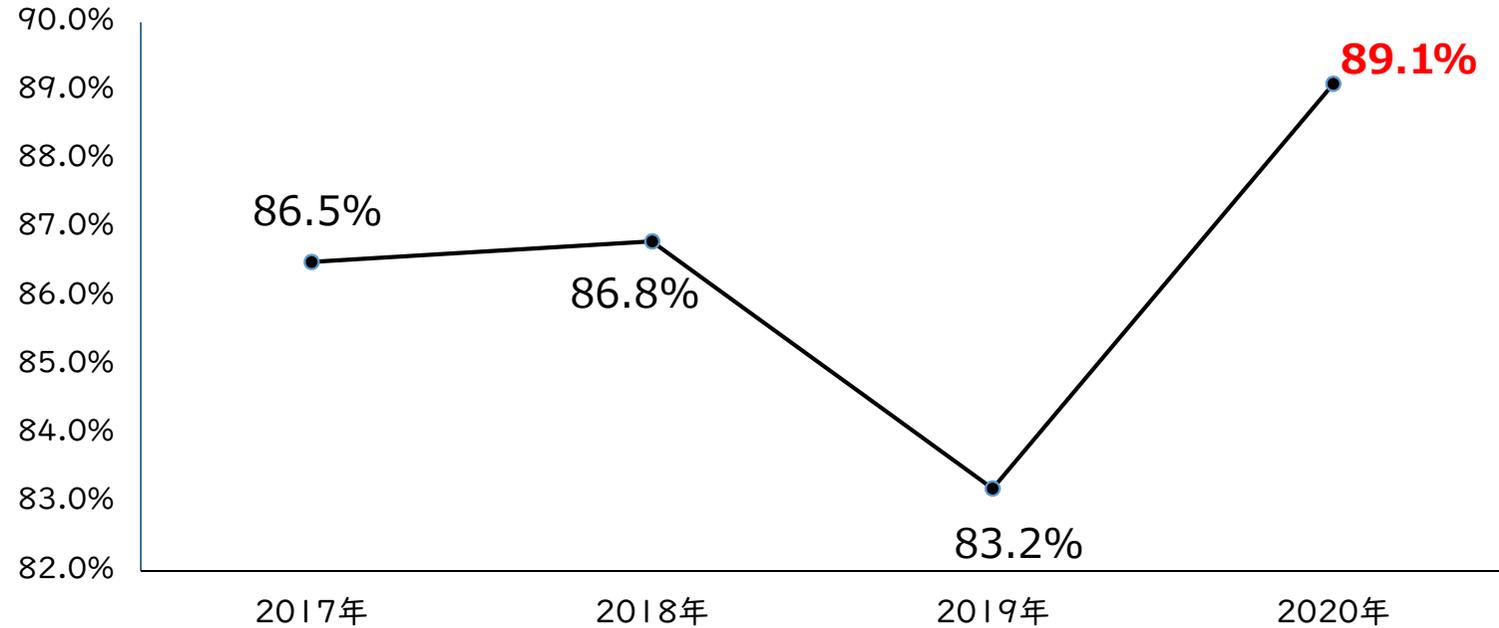
※「未使用」=1枚も使っていないこと

配布人数	183人
使用人数	163人
使用率	89.1%
未使用人数	20人
未使用率	10.9%

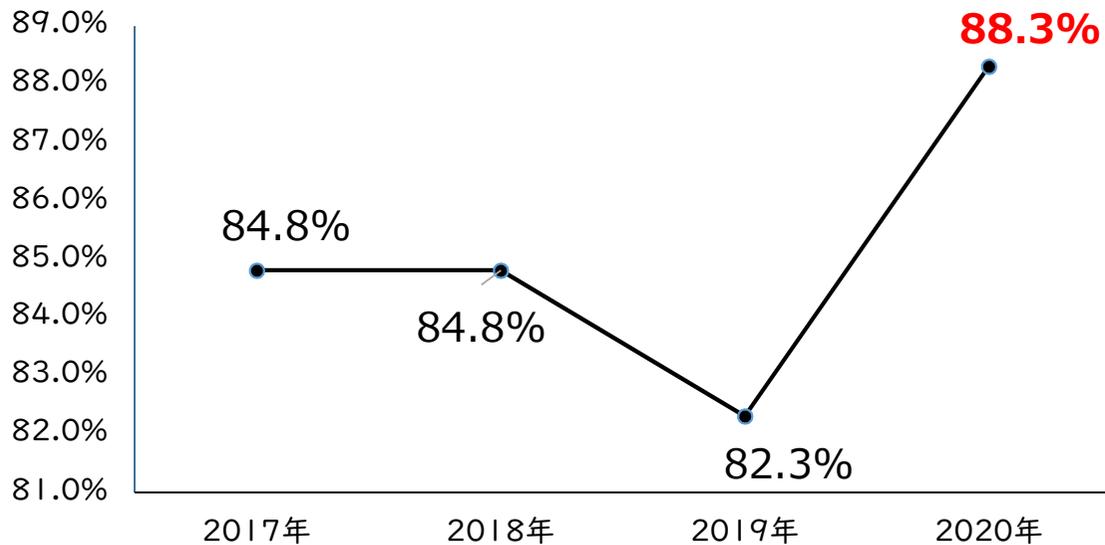
使用されたクーポン(執行率)

配布枚数	732枚
使用された枚数	646枚
クーポン執行率	88.3%

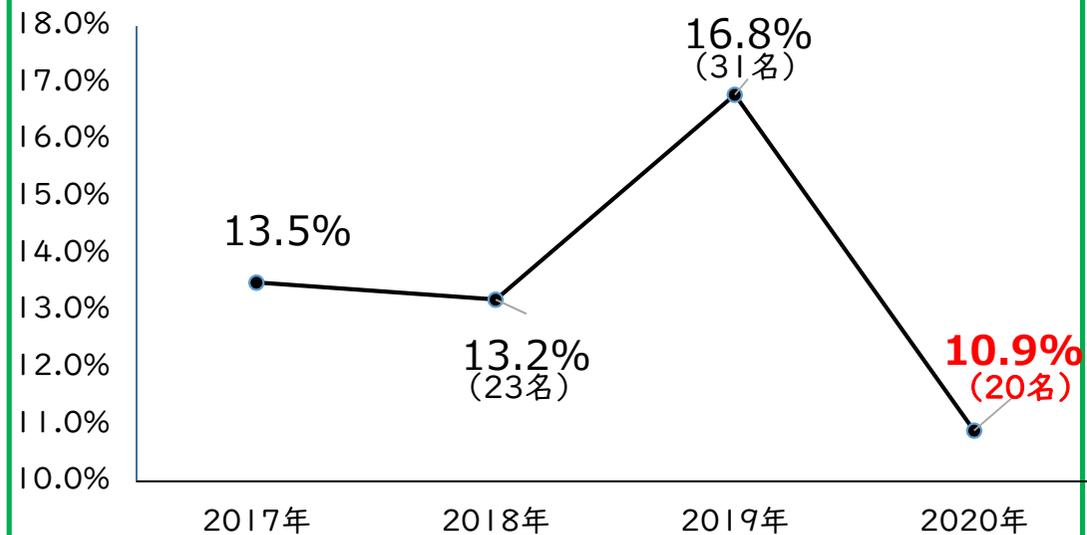
クーポンを使用した児童の割合(使用率)の推移



クーポンの執行率の推移



クーポンを全く使用しなかった児童の割合の推移



3 主な取組の状況

ブックリストの作成・配布 (2017年より)

- 児童の本に対する興味・関心を喚起するために、おすすめの本を紹介するブックリスト「本はともだち」を作成し、クーポンと一緒に全児童に配布。
- ブックリストに掲載する本は、ハ戸ブックセンターとハ戸工業高等専門学校の戸田山教授を中心に、市立図書館、学校司書が連携して選書した。
- ブックリストの用紙は、三菱製紙ハ戸工場が無償提供



学校用ポスターの作成・配布 (2019年より)

- コンセプトは「児童の目を引き、足を止め、何度も見たくなるポスター」
- デザインは、市内書店の書店員に依頼した。
- ポスターとリンクしたワークシートも作成・配布した。(2020年より)
- ポスター、ワークシートのデータも各校に提供 (2020年より)



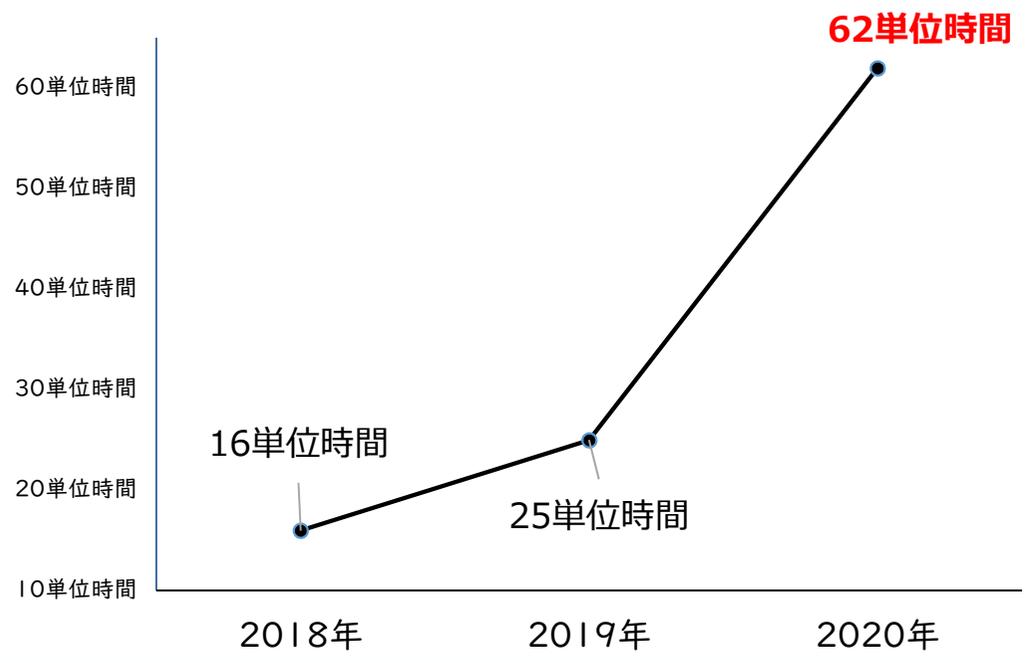
出張ブックトークの実施 (2018年より)

- 《内容》ブックリスト「本はともだち」に掲載されている本を中心に、本の内容を紹介したり、一部を読み聞かせしたりし、本に対する興味や関心を高める。
- 《対象》希望する市内の小学校
- 《講師》ハ戸工業高等専門学校 教授
ハ戸ブックセンター 企画専門員
市立図書館職員 (2019年より)
学校司書 (2020年より)



令和2年9月20日付 東奥日報

出張ブックトーク実施時間数の推移



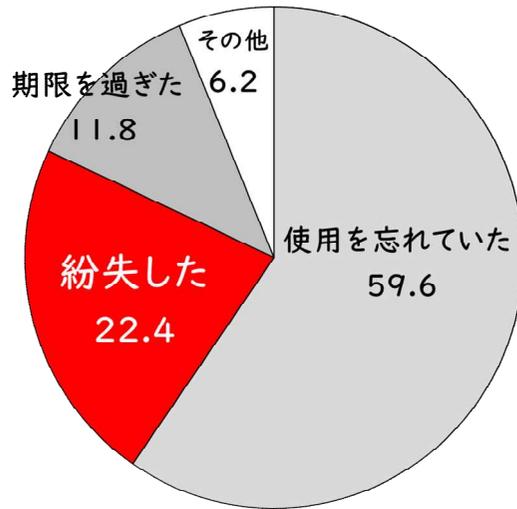
◇これまでの活動実績 (1単位時間=45分間)

年	実施時間数	対象児童数
2018年	16単位時間	521人
2019年	25単位時間	1026人
2020年	62単位時間	1607人

4 課題解決のための新たな取組

クーポンの再発行(2020年より)

マイブッククーポンを全く使用しなかった理由
(2019年保護者アンケートより)



《これまでの現状と課題》

- 保護者アンケートからクーポンを1枚も使用しなかった児童の2割強が、クーポンを紛失したことが理由だった。
- 2019年度まではクーポンの再発行は原則、行っていなかった。

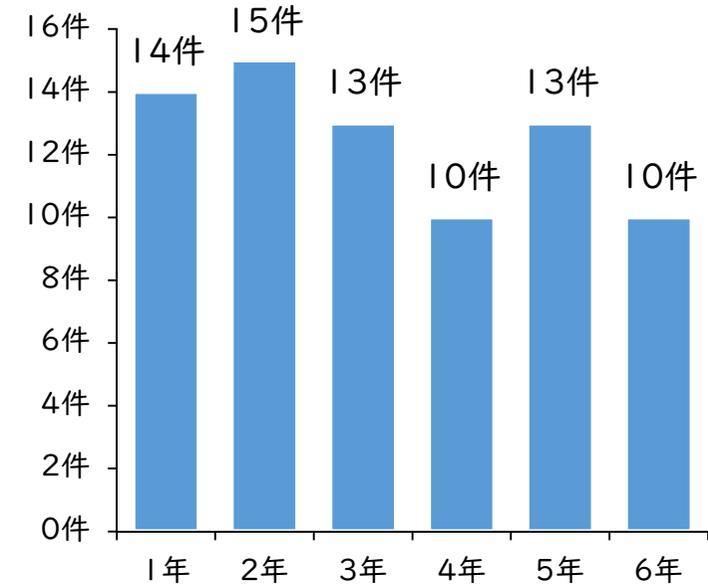
《今年度からの対応策》

- 未使用の場合に限り、再発行する。

《状況》

- 再発行の件数は、合計75件で、うち74件が紛失によるもの、1件が破損によるものだった。

学年別再発行の件数(合計75件)



注文袋の作成・配布(2020年より)

《これまでの現状と課題》

- クーポンを1枚も使用しなかった理由として、①家庭事情により書店へ出かけることができない、②学区内に書店がなく、児童だけで購入することができない、ということが考えられた。

《今年度からの対応策》

- 書籍を注文で購入できる注文袋を作成・配布する。

《概要・状況》

- 市立小学校には使用期間内にクーポンを全く使用しなかった児童に対してのみ、使用期間を過ぎてから注文袋を配布する。
- 使用できるのはクーポンだけとする。
- 注文袋は、教育指導課で取りまとめ、八戸書店連盟へ渡す。八戸書店連盟は、本を発注し、各学校へ配達する。

- 注文袋の使用したのは、52名だった。(市立小学校49名、特別支援学校3名)



表面



裏面

特別支援学校の現状に鑑みた取組(2014年より)

《昨年度までの現状》

○市立小学校と比較して、クーポンの使用率、執行率が低く、クーポンを1枚も使用しなかった児童の割合が高い。

《考えられる要因》

- 八戸病院内分教室、はまなす医療療育センターに入所しているため、書店へ行くことが難しい。
- 児童とともに書店へ出かけることを保護者がためらうことがある。(保護者アンケートより)
- 家庭の事情により書店へ行くことができない。

《課題解決のための取組》

- 音の出る本や紙芝居、点字の本等、ニーズに応じた図書を幅広く購入できるようにする。(2014年から)
 - 市立小学校用のクーポンと色を変え、参加書店に周知することによって、特別なニーズに応じた図書を購入しやすくする。(2019年から)
 - クーポンと一緒に注文袋を配布し、随時、活用できるようにする。(2020年から:活用実績:3件)
 - 学校で注文を取りまとめて書店へ発注し、届けてもらうことができるようにする。(2020年から:活用実績なし)
- ※活用実績はなかったが、児童への積極的な声かけにつながった。学校独自のブックリストを作成した例もあった。



特別支援学校用クーポン

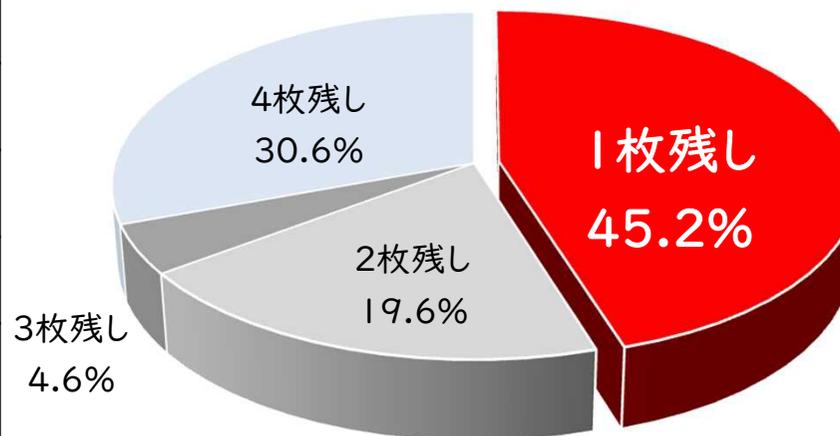
5 今後の課題

クーポンの執行率の向上—使い残しを減らす—

クーポン未執行の状況(市立小学校)

1枚使い残した人数	205人
2枚使い残した人数	89人
3枚使い残した人数	21人
4枚使い残した人数	139人
執行されなかったクーポンの枚数計	1,002枚

使い残した枚数別の割合(市立小学校)



《現状》

○使い残した児童のうち、1枚だけ使い残した児童が最も多い。

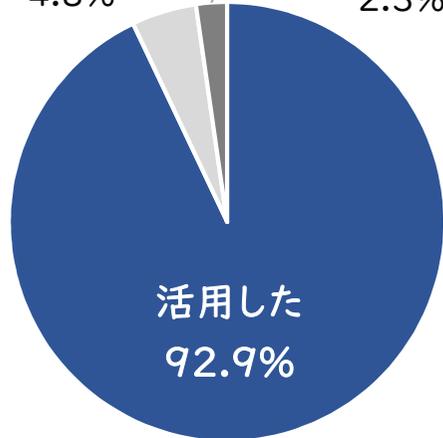
《1枚だけ使い残す要因》

- 1001円～1500円未満の本を購入した際にクーポンを3枚(1500円分)使用していることが考えられる。
- クーポンが1枚残った場合、1枚分(500円)で購入できる対象書籍が少なく、また、現金を追加することも難しいことから使用を諦めるケースが多いことが考えられる。

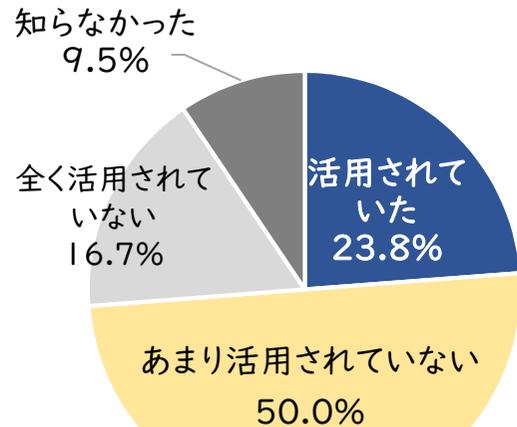
学校アンケートの結果から

使用状況の把握に、クーポンの記名欄を活用しましたか

あまり活用しなかった 4.8% 活用しなかった 2.3%



ポスターとリンクしたワークシートは活用されていましたか



《現状・課題》

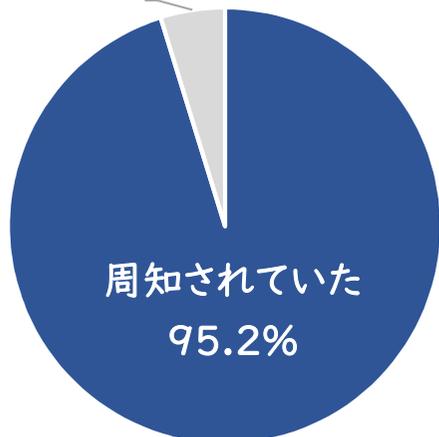
- 昨年度から設けたクーポンの記名欄については、ねらいが周知され、活用されてきている。
- ポスターとリンクしたワークシートについては、ねらいについてさらに周知を図っていく必要がある。また、ワークシートの内容を改めて吟味するとともに、活用例を情報提供していく必要がある。



ワークシートの活用例

クーポンを再発行することは周知されていましたか

あまり周知されていなかった 4.8%



《自由記述欄より(抜粋)》

[注文袋について]

- ・何度学級から声がけしても書店へ連れて行ってもらえない児童もいるので、注文袋配布はありがたいです。
- ・注文袋を渡したことで、書店に行くことが難しい児童にとってはとても助かったと思う。
- ・家庭や地理的理由で本屋に連れて行ってもらえない児童へ注文袋の配布はよい取組だと思います。
- ・本来なら、書店に行って、本を親子で選ぶ時間を取ってほしかったのですが、それぞれの事情があり、行くことができなかった子にはこの方法はよかったです。
- ・注文袋やクーポンを再発行していただいたことで、どの子も本を手にすることができました。
- ・利用できなかった家庭への注文袋配布やクーポン再配布など、手厚いサポートありがとうございました。
- ・再発行、注文袋…紛失・書店へ行けないなど家庭の事情もあるので、大変助かりました。

[クーポンの再発行について]

- ・未使用、紛失した場合の対応もしていただけたので、確実にクーポンを使わせることができました。
- ・クーポンの再発行については、使用状況を把握後、担任から保護者へ連絡を入れて再発行を勧めた。

[使用期間について]

- ・使用期間はもう少し短くてもよいのではないのでしょうか。(同意見他4)
- ・クーポンの使用期限が長くなることで購入を急がずにできる点は良かった。(同意見他3)

5 参考資料 ～保護者アンケートより(回答数:3182件)～

《自由記述欄より(抜粋)》

- 自分で選んで購入した本ということで、いつも以上に愛着を感じて読んでいる姿が見られた。
- あまり書店に足を運ぶ機会がなかったのですが、行ってみると読みたい本がたくさんありました。クリスマスプレゼントに本が欲しいと言われ嬉しかったです。
- 普段はネット注文なので書店に行く機会がないのですが、マイブッククーポンがあることで、書店に行って本を手にする機会ができました。
- 普段、図書館で本を借りて読むことの方が多いので、子どもは自分の本が増えるのも嬉しいのか毎回楽しみにしています。お気に入りの本を私(母)にも読んでみてと勧められるなど、会話のきっかけにもなっています。
- 去年に引き続き、ありがたく使わせていただきました。乗り物図鑑を購入しましたが、こういう機会でなければなかなか購入できないので、子どもはとても喜んでいました。
- 本も高いので、本だけを買いきに出かけるということではなかったのですが、子どもと本を選んだり、選んだ本を読んだり、貴重な時間をもらったクーポンでした!ありがとうございます!
- なかなか本を買ってあげられないので子どもも喜んでいて、今後も続いて欲しいと思っています。
- 小学1年生なので、今年が初めてのブッククーポンでした。どの本にするか、書店でじっくり吟味していました。本人は書店に行くことによって、今まで見向きもしなかった内容の本に興味を湧いたり、自分の好きなものを掘り下げたいと感じたりしたようです。本を選ぶことで子ども自身の世界が広がったと思います。

- 自費でとなると絵本を買う余裕がないのですが、マイブッククーポンのお陰で子どもと絵本をじっくり選んで買うことができ、とても助かります。図書館でも借りますが、『自分だけの絵本』となると子どもも嬉しいようで、ずっと手放しません。
- 図鑑のシリーズが好きで、普段なら値段も高いので購入を迷うのですが、ブッククーポンがもらえると子どもが興味をもっている図鑑を買うことが出来るのでとても助かります。
- 予算が十分にあるので、いつも我慢している本を納得するまでじっくり考えて選ぶことができ、本人も満足したと思う。
- 読書の大切さは分かっているながらも、親が読書が苦手なため、子どもたちも本屋にはあまり行く機会がない。ブッククーポンがあれば、「せっかくだから利用しよう」となり、あまり読書が得意でない子どもたちも、これなら読みたいという本を選んで購入できる。大変助かる。
- 県立の養護学校にも配布はありがたい。字が読めないので音の鳴る本を選びました。本人とても喜んでいたので、是非続けてほしいです。
- 養護学校へ通っていますが、特別なはからいで好きな本を買わせて頂いており感謝しております。
- とても良い取り組みだと思う。特に、学校の担任の先生や校長先生をはじめ学校全体、街全体で読書に意欲的な雰囲気づくりをしてくださっていることが、親が家で取り組むよりも、より効果的に子どもたちのやる気を後押ししていることを実感する。
- 毎年楽しみに本を選んでいました。6年間温かい贈り物をありがとうございました。

「奇跡の鳥居」解説板の設置について

1 事業概要

当市大久喜地区の厳島神社の鳥居について、東日本大震災の津波による流失から再建に至るまでの過程や再建に尽力いただいた方々の功績と偉業を伝えるための解説板を作成し、設置する。また、解説板の設置にあたり、除幕式を開催する。

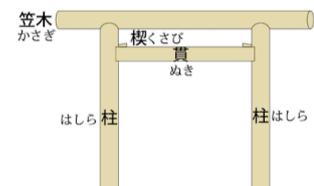
2 目的

震災以降、官民一体となって取り組んできた復興への歩みには、日本国内だけでなく、世界中から多くの支援が寄せられた。令和3年3月、震災から10年の節目を迎えるにあたり、震災の記憶を風化させないこと、震災を経験していない児童生徒の防災意識の高揚と防災教育の充実を図ること、人と人とのつながりや共に助け合うことの大切さを伝えることを目的に解説板を作成し、設置する。

3 「奇跡の鳥居」概要

当市大久喜地区に所在する厳島神社の鳥居3基が東日本大震災の津波によって流失した。2年後に鳥居の一部である「笠木」2本が米国・オレゴン州の海岸に漂着した。笠木は、その調査及び保管に携わったポートランド日本庭園（以下、「PJG」）の全面的な支援により当市へ返還され、その後、修理を施し、鳥居2基が元の場所に再建された。

※ 昨年11月、PJGより震災10年の節目に、震災や笠木に関する特別展を現地で開催するとの知らせがあった。その後、オンラインミーティング等を通じて、特別展への協力や共同企画について協議を重ねた。PJGの特別展については、令和3年4月24日から5月31日まで開催される予定であり、当市ではこの特別展開催にあたり、協力・助言を行っている。



4 除幕式について

- (1) 日時 令和3年3月6日（土）10時～10時30分
- (2) 会場 大久喜小学校体育館（除幕はレプリカ版で行う）
- (3) 出席者

【大久喜関係者】町内会会長（大久喜、法師浜）、鳥居奉納者、鳥居再建大工、漁業民俗保存会
漁業生産部会部会長（大久喜、法師浜）、南浜漁業共同組合組合長

【学校関係者】大久喜小学校（全校）、南浜中学校（校長、3年生）

【市関係者】市長、議長、坂本市議、教育長、市民連携推進課、博物館、教育指導課

【ポートランド日本庭園】内山氏（オンライン）

(4) 次第

1 はじめのことば	6 地域伝統芸能
2 黙とう	7 メッセージ
3 主催者あいさつ	8 おわりのことば
4 除幕	9 記念撮影
5 解説板概要説明	



解説板デザイン（イメージ）



位置図

解説板設置場所

令和2年度 学校教育実践功労表彰について（報告）

今年度の学校教育実践功労表彰について、下記のとおり表彰団体を選定し、表彰式を行いましたので報告します。

1 趣 旨（制度の目的）

確かな学力、豊かな心、健やかな体をはぐくむことを目指して実践的に教育活動を展開し顕著な成果をあげた研究や活動を表彰し、八戸市の学校教育の質の向上を図る。

2 日 時 令和3年2月1日（月）16時00分

3 会 場 八戸市庁 5階 教育長室

4 表彰団体

活動部門 八戸市立豊崎中学校

（活動内容）仲間と協働し、自らの目標や課題に見通しをもって取り組める生徒の育成

～総合的な学習の時間「豊中わ・んだあー」における農園活動～

5 選定・表彰の概要

（1）選定までの経過

令和2年 9月23日（水）	募集開始
令和2年12月11日（金）	募集終了（応募団体：1団体）
令和3年 1月20日（水）	学校教育実践功労表彰 意見聴取会 応募団体へのヒアリング・書類審査・選考
令和3年 2月 1日（月）	学校教育実践功労表彰 表彰式

（2）選定結果

学校教育実践功労表彰意見聴取会（小中学校長会代表・小中学校教育研究会代表・PTA代表の6名）からの意見をもとに総合的に検討し、上記団体が優れた実践を行い顕著な成果を上げていると判断し、表彰団体として選定した。